

(参考様式 6 - 2)

農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）
佐呂間地区活性化計画 目標達成状況報告書

平 30 年 8 月 15 日作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
北海道	佐呂間町	佐呂間地区	H22～H25	H23
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
乾燥調製貯蔵施設	土地造成、調査設計費、飼料調整棟1棟、飼料貯蔵施設31基、サイレージ取出機2台、フォークリフト1台、圧縮梱包設備2台、飼料タンク17基、飼料混合機2台、各付属装置		佐呂間町農業協同組合	
高生産性農業用機械施設	自走モアコン1台、堆肥散布機1台、尿散布機1台		佐呂間町農業協同組合	

1 目標達成に向けた取組

平成 29 年度 実施方策	<p>■ 定住人口の確保</p> <ul style="list-style-type: none">・ 出産祝金支給や妊婦検診費用助成による経済支援、「さろま子育て応援医療費助成事業」により中学生までの医療負担無料化、更に小中学生の通学支援や保育所、子育て支援センター等、各機関の連携により「子育て支援事業」の充実を図った。・ 定住促進対策として住宅用地の分譲、個人住宅の新築・改修等に対する助成及び商工業者が行う店舗改修や設備投資に係る費用の一部を助成し雇用促進、定住促進を図った。・ 後継者の花嫁対策として、農協が実施する事業に対し支援を行うと共に、農業・漁業・商工業青年部が企画するお見合い事業・街コンへの支援を行った。・ 人口の自然減防止対策として、佐呂間町健康マイレージ制度“サロマゲンキマイレージ”の実施を通じ、健康づくり活動並びに各種検診の参加率向上に取り組んだ。・ 新・農業人フェアや新規就農フェアに出展し、新規就農者の確保を図った。（東京2回、札幌1回） <p>■ 地域産物の販売量の増加</p> <ul style="list-style-type: none">・ 生乳生産の目標達成に向けて、良質粗飼料の確保が重要であることから、道の補助事業の活用により、暗渠排水を中心に土地改良を実施し、合わせて草地整備も取り組んだ。・ 全町を対象として、飼料用とうもろこし圃場を3年間（平成26年度～28年度）、草地を4年間（平成26年度～29年度）土壌分析の実施を取り進めた。また、施肥相談会等を開催し、調査した圃場の分析値に基づき施肥設計、適正施肥の指導を行った。・ コントラクターによる粗飼料収穫において、国の補助事業の活用により、平成26年8月に体制整備のため大型作業機械（自走モアコン）の増車を図り、作業効率、適期収穫に取り組んだ。・ 農家個々の規模拡大に伴い、労働力支援を目的に、既存JA育成センターを平成27年度に施設を拡充し、年間を通じて計画的に導入し、後継牛の確保を図った。・ 生乳増産対策として、家畜購入資金対策、後継牛確保対策、雌雄判別精液促進事業の活用等、啓蒙と関係機関と連携を
------------------	--

	<p>図りながら取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐呂間町畜産クラスター協議会において、農協主体の労働負担軽減策の推進と大規模酪農経営育成による生乳生産の拡大を重点とする畜産クラスター計画を策定し、規模拡大及び搾乳ロボット導入1戸（町内初）、新規参入1戸について平成29年度に稼働を開始し、事業推進を図った。
平成29年度の目標値と実績値	<ul style="list-style-type: none"> ■定住人口の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・目標値1.03%増に対し、1.21%と目標値を上回った。 ■地域産物の販売量の増加 <ul style="list-style-type: none"> ・目標値2.94%増に対し、▲3.87%と目標値を下回った。
所見	<ul style="list-style-type: none"> ■定住人口の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・転入者の目標数値169人に対し218人と大幅に上回ったため、転出者の目標数値219人に対し225人で僅かに多かったが、目標値を上回る結果となった。外国人技能実習生の増加が要因と考えられる。 ■地域産物の販売量の増加 <ul style="list-style-type: none"> ・本町の生乳生産は、離農による酪農家戸数（H28年85戸⇒H29年84戸）及び搾乳牛頭数（H28年4,967頭⇒H29年4,801頭）の減少が大きく目標値を下回る結果となった。